

捨てる方も エシカルに

EFFC、積水 など講座

毎年5月の第2土曜日は世界フェアトレード・デー。世界各地でさまざまな催しが行われる中、東京都世田谷区の世田谷ものづくり学校では、フェアトレードやオーガニックコットンなど、ファッションを通じてエシカル（倫理的）なものの見方を学ぶためのイベントが開かれた。



9日、10日の2日間にかけて開かれたのは、

「エシカルファッションカレッジ2015」（主催・エシカルファッションカレッジ実行委員会）。さまざまな分野の講師を招き、ワークショップや体験学習などの講座を開催。ジーンズメーカー・Lee Japan取締役の細川秀和氏の呼びかけで昨年から実施されており、2回目の今回は2日間で1500人以上が訪れた。

10日午後に関われたのは、対話型ワークショップ「エシカルな視点をもって暮らすヒントー日常のエシカルを見つけよう」（写真）。細川氏の他、積水化学工業の山口乃理夫氏、廃棄物処理業者・ナカダイの中台澄之常務らが参加し、それぞれの専門分野を通じてで

きるエシカルな行動のヒントを探った。

下水道の管更正事業を紹介した山口氏は、「水の捨てる方」に言及し、「水には枯渇、汚染、漏在の問題がある。造水、浄化、節水、貯水の4つに取り組めば、最終的にはかなり大きな効果につながる」とヒントを提示。日常的に気を付けるべきこととして、中台氏は「物はなぜ捨てられるか。捨てるという行為そのものをジャッジしないといけない」などと述べた。